

令和2年1月

無痛分娩について

ウイメンズクリニック グリーンヒル
院長 西村宏祐

① 無痛分娩とは

無痛分娩とは、麻酔を使用して分娩に伴う痛みを軽減して、安心してお産に臨む方法です。米国やフランスでは70%以上が無痛分娩であると言われていますが、日本での普及率は10%以下とされています。

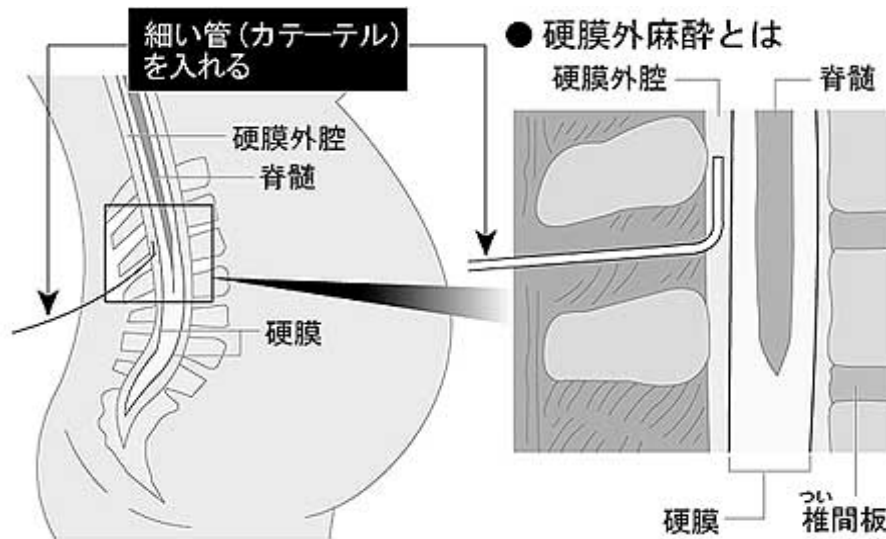
使用する麻酔方法は、硬膜外麻酔あるいは脊椎麻酔となります。この麻酔により、“お臍ぐらいから下は触った感覚はあるけれど、痛くない”状態を保ちます。その結果、陣痛の強い痛みが来ても、痛みと感ぜずに済みますから、リラックスした状態でお産に臨むことが可能です。(実際に麻酔を始めて無痛の状態になるのに約5-30分かかります)

② 方法

硬膜外麻酔によるものと、脊椎麻酔によるものがあります。状況に応じて使い分けることになります。

硬膜外麻酔法

- A) 強い陣痛が来る前に、手術台の上で体を丸くする体位を取ります。
- B) 腰の高さぐらいの位置に、背中側から痛み止めの注射(局所麻酔)をします。
- C) 背中から針を硬膜外腔まで進めて、そこに細い管(カテーテル)を入れます。
- D) 背中の針を抜き、細い管だけを残してテープで背中に固定します。
- E) 細い管から、硬膜外腔に麻酔薬を入れます。
- F) 麻酔効果を確認します。



脊椎麻酔法

硬膜外麻酔法の効果が不十分である場合、あるいは分娩が急激に進むことが予想される場合に行います。

- A) 手術台の上で体を丸くする体位を取ります。
- B) 腰の高さぐらいの位置に背中側から、痛み止めの注射（局所麻酔）をします。
- C) 細い針を、硬膜を超えた脊髄くも膜下腔に到達させ、そこに麻酔薬を注入します。
- D) 背中の中の針を抜き、絆創膏で保護します。
- E) 仰向けになり、麻酔効果を確認します。

③ 無痛分娩の利点

- A) 痛みが取れて、リラックスした状態で出産に臨むことができる
- B) 産後の疲労が少ない
- C) お産に対する不安・恐怖感を払拭できる
- D) 万が一、帝王切開となる場合にも、麻酔のカテーテルがそのまま使用できることが多い等があげられます。何はともあれ、痛みから解放されることでリラックスできることの恩恵が一番強いようです。また、痛みが弱い方や、不安・恐怖感の強い方にもお勧めです。

④ 無痛分娩の欠点

- A) 硬膜外穿刺あるいは脊椎麻酔という技術が必要である（誰でもできるわけではない）
- B) 穿刺に伴う合併症がある（穿刺部の血腫、麻酔後の頭痛 他）
- C) 硬膜外麻酔に伴う合併症がある（血圧の低下、気分不良、感染 他）
- D) 陣痛が弱くなり、微弱陣痛となり、陣痛促進剤や吸引分娩が必要になることがある

等があげられます。こうした合併症が起こらないように注意しておこないます。しかし、こうした合併症あるいは副作用により、硬膜外麻酔を中止あるいはできない場合もあることをご了承ください。また、微弱陣痛で分娩自体が進行しない場合には、陣痛促進剤を使用することとなります。

⑤ 陣痛促進剤の使用について

無痛分娩において、陣痛が弱くなり、このままでは分娩に至りそうにない場合には、薬剤による陣痛促進（増強）が必要となります。薬剤使用の際は陣痛が強くなりすぎず、かつ、分娩が進行する適度の強さの陣痛が得られるように調節を行います。そのため、分娩監視装置を常時装着する必要がありますので、妊婦様は主にベッド上で過ごしていただく事となります。

陣痛促進剤の利点；分娩が進行し、出産に至る。

陣痛促進剤の欠点；陣痛促進の薬剤の使用が必要である。薬剤の効果が強すぎると過強陣痛となり、母体あるいは児に悪い影響をもたらすことがある。（そのため過強陣痛にならないように常に分娩監視装置を装用し、調節する）

⑥ 無痛分娩が不可能な場合

過去に脊椎の手術を実施している、脊椎が著しく曲がっている（側弯症）、麻酔薬に対する過敏な反応の既往がある、穿刺部位が止血しにくい状況にある、著しく太っていて背中の脊椎の蝕知が困難である、などの場合には、麻酔手技の実施がむずかしく、そのような場合には無痛分娩を実施することができません。

何らかの病気あるいは手術があり、そうしたことへの不安がある場合には、事前に医師あるいはスタッフにご相談ください。

⑦ 注意事項

実際に無痛分娩を希望される場合には、無痛分娩の説明書をよく理解いただき、無痛分娩と陣痛促進の同意書が必要となります。

無痛分娩の麻酔中は、原則として絶食となります。飲水のみOKです。

無痛分娩の場合、「手技料金・使用する薬剤・装置代」として、通常分娩料金に加え約7万円の追加負担となります。また、数回同様の操作を行い、薬剤の使用が通常使用する量を大きく超えた場合には、加算料金が発生する場合があります。

無痛分娩に関する同意書

私は、ウィメンズクリニック グリーンヒルで行われる無痛分娩の方法、利点、欠点などについての説明書を読み、その説明を受け、十分理解した上で無痛分娩の実施を希望します。

令和 年 月 日

患者名前 _____

同席ご家族氏名（関係） _____（ ）

同席 ウィメンズクリニック グリーンヒル スタッフ名 _____

ウィメンズクリニック グリーンヒル 院長 西村 宏祐

陣痛促進剤の使用に関する同意書

陣痛が弱く、分娩が進行しない場合に、薬剤による陣痛促進に関して、その方法、利点と欠点などの説明を受け、十分理解した上で陣痛促進の実施を希望します。

令和 年 月 日

患者名前 _____

同席ご家族氏名（関係） _____（ ）

同席 ウィメンズクリニック グリーンヒル スタッフ名 _____

ウィメンズクリニック グリーンヒル 院長 西村 宏祐